



えんしんぶんり

VOL.118
2021年1月



New Laboratory



イメージ図

会員の先生方におかれましては、日頃より福岡市医師会検査センターをご利用いただき、誠にありがとうございます。以前お知らせ致しました通り、現在、当センターは新しいラボへの改装工事中となっております。

Contents

新ラボ、只今改装中です!／みんなの広場／② ALP・LD測定法の切り替えがはじまっています／③
お知らせ／④ ちょっとひと言!／④

福岡市医師会臨床検査センター

〒814-0001 福岡市早良区百道浜一丁目6番9号 TEL 092-852-1506 FAX 092-852-1510
<http://www.city.fukuoka.med.or.jp/kensa/kensa.html> E-mail : fma@city.fukuoka.med.or.jp

新しい検査センター開設に向けて

2015年4月より株式会社エスアールエルと業務提携し、2019年春にはスタットラボとしての天神ラボラトリーを開設し、業績改善に努めて参りました。

今回の新しいラボは医師会検査センターとエスアールエル福岡ラボの共有ラボとなります。両ラボを“効率的・効果的”に運営する目的と共に、次世代型の“Advanced Lab”を構築する事で会員医療機関の日常診療に寄与します。

Advancedとは高度な・先進的の意味があり、各検査分野に自動化ラインを導入し、これまで以上の5S活動を行う事で、効率だけでなく、ショールーム機能を持った“魅（見）せるラボ”として生まれ変わります。

新しいラボは、ガラス張りの検査室で、これまでよりも間近に検査の様子を見て頂く事が出来ます。

“魅（見）せる”ことで、検査センターをご利用いただいている先生方には使っていただけるよ



う、また長くお付き合いいただいております先生方には、『うちの検査室』として是非お気軽に見学いただきたいと考えております。誠実に精確な検査室の誕生まで、今しばらくお待ちください。

皆様には今後もより一層のご利用を賜りますようお願い申し上げます。

Advanced Lab

みんなの広場

～勝利する～

私の冬の恒例イベントといえば、職場でのインフルエンザワクチン接種。予診票記入、検温、問診が終わればいざ接種、毎回のことだが針が腕に刺さる瞬間はクールにやり過ごすようにしている。

さて、人類は古くから多くの伝染病にさらされてきた。一度伝染病にかかり回復した人はその病気に対して以降疫を免れるという現象は古くから知られ、「免疫」の概念はすでに生まれていた。しかし、実際にワクチンが開発されるのはエドワード・ジェンナーが種痘を考案する18世紀まで待たなければならなかった。

1775年頃ジェンナーは、牛痘に感染した乳絞りは感染した局所に小さな潰瘍が出来るものの天然痘にかからないことを知り、種痘のアイデアを得た。1796年乳絞り女サラ・ネルムスの手に生じた牛痘瘡から取ったリンパ液を、8歳の少年ジェームス・フィリップスに接種した。これが史上初のワクチン接種となった。

1958年WHO総会で世界天然痘根絶計画が可決され、ワクチン接種と並行して「患者を見つけ出し、患者周辺の人に種痘を行う」という作戦が実施された。1980年作戦が奏功し、WHOが天然痘の世界根絶宣言を行うに至った。人類が感染症に勝利した一つの事例といえる。

ところでイベントの締めくくり、ワクチン接種が終わり同僚とすれ違いざま、子供のころの集団予防接種の定番のセリフ「今日のは痛くなかった～」で勝利宣言するのであった。

参考文献：石田寅夫/ノーベル賞から見た免疫学入門/化学同人
高下 誠司

ALP・LD測定法の国際標準化対応がはじまっています

ALP・LD測定法の国際標準化対応がはじまっていますが、移行の準備はお済みでしょうか？

○なぜ測定法を切り替えるの？

アルカリホスファターゼ (ALP) および乳酸脱水素酵素 (LD) の測定法については、国内では臨床化学会の定めた測定法 (JSCC法) が広く用いられています。

しかし、国内のALPとLDのJSCC法は国際臨床化学連合 (IFCC) の方法とは反応性が異なり、疾病とは無関係な高値を示すことがあります。また国際的な治験や臨床研究ではALPとLDはIFCC法による測定が要求されます。日本独自の方法から国際標準への流れは避けられません。

○いつから切り替えるの？

日本臨床化学会では、2020年4月1日より準備の整った施設からIFCC法への切り替えを開始し、1年間での達成を目指すとされています。また厚生労働省より変更の通知が出されています。

当検査センターでも、今春切り替えに向けての準備を進めております。

○注意点

新たな測定法での注意点として、

- ・ALPについては、測定値および基準値の範囲が1/3程度になる
- ・LDについては、測定値および基準値の範囲に変更はないものの、肝疾患などではJSCC法に比べ低値傾向となるとされています。

< JSCC法変更後の測定値について >

- ALPの測定値は下記のようにIFCC法がJSCC法の約1/3になります。

	現行測定法 (JSCC法)	新測定法 (IFCC法)
成人男女	106~322U/L	38~113U/L

ALPの換算係数については、B・O型の検体の比率によって回帰式の傾きと乖離の程度が異なるため、実測値に合致する換算係数を得ることは困難ですが、ほぼ肝型と骨型の検体と仮定した場合の換算係数は以下となります。

- JSCC法測定値からIFCC法測定値に換算：0.35倍
- IFCC法測定値からJSCC法測定値に換算：2.84倍

ただし、小腸型ALPや胎盤型ALPが増加する症例では、換算値は実測値から乖離しますので、ご注意ください。妊婦の場合にも妊娠週数が増すごとに胎盤型の出現が増すため、上記換算係数を使用すると実測値との差が大きくなります。

- LDの測定値は共用基準範囲ともに現行法と変わりません。

会員検診のご案内



～日頃お世話になっている先生方へ感謝の意味をこめて～

日頃お世話になっている先生方へ年1度のこの機会に血液検査をお勧め致します。

◎対象者：福岡市医師会臨床検査センター利用のご関係者様

◎検査依頼：検査依頼書にご記入頂き、
お申し込みください。

◎実施期間：2021年2月1日(月) から
2021年2月27日(土) 予定

※詳細につきましては、改めてご案内させていただきます。



PSA

2月はPSA(前立腺がん)検診の受診月です

1. 対象者：福岡市民の方（男性、年度内55歳以上）で職域等で受診する機会のない方

2. 受診者負担金：1,000円

※下記の方は、負担金が免除（無料）になります。

①満70歳以上の方 ②市民税非課税世帯の方 ③生活保護受給世帯の方 等

3. 依頼方法

依頼書のフリー欄に項目コード「201」とご記入ください。

また、性別、年齢（生年月日でも可）のご記入も併せてお願い致します。

登録は申込書1枚
送るだけでOK!

登録方法：実施するには事前登録する必要があります。

詳細につきましては、福岡市医師会医務課（Tel 852-1504）に
お問い合わせのうえご登録を宜しくお願い致します。



ちよつと
ひと言!

『小さな楽しみ』

7月から地下鉄&バスを乗り継ぎ、1時間余の通勤となった。それまでは、20分間の自転車通勤だったので生活リズムが一変してしまった。朝5時半には起床、家族のお弁当&朝食準備。7時前の地下鉄に乗るが、意外に通勤者や学生が多く座れない。帰宅は早くて19時半、それから夕飯準備、等々。

こんな大変な毎日であるが小さな楽しみもある。朝焼けの山の稜線、空港の夜景を見ると気分転換になる。また何と言っても、月一回のデパ地下グルメは自分へのご褒美である。

百道勤務に戻るとこのようなことは味わえないので、今の間に堪能しておこうと思う。

藤本 久美子